

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者の方 300 円

開催日 2022年5月6日、13日、20日、25日、27日

★6日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りチョコのソフトクッキー、手作りフルグラのソフトクッキー、手作りバナナのミニケーキ、手作りレーズンのミニケーキ、カルピス、はと麦茶

参加者 こども 11名 保護者の方 5名

配布 チョコレート、ハンドクリン、カルゲンミニ

★13日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのココアソフトクッキー、手作りバナナのミニケーキ、手作りレーズンのミニケーキ、カルピス、はと麦茶

参加者 こども 8名 保護者の方 2名

配布 カルゲンミニ

★20日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りフルグラのココアソフトクッキー、

手作りバナナのミニケーキ、抹茶オレ、はと麦茶

配布 チョコレート、たけのこの里、コアラのマーチ、カルゲンミニ、お茶、
みかんゼリー

参加者 こども 8名 保護者の方 3名

★25日 11:30～19:30 「カレーの日」 (コロナ対策で予約制)

食事 チキンキーマカレー、わかめとなめこのスープ、はと麦茶

※卵、乳、小麦粉は不使用

配布 お米、味付け海苔、なめこ缶詰、パックご飯、塩こんぶ、食用油、フリーズドライ味噌汁、オートミール、煎りごま、スープ、チョコレート、たけのこの里、コアラのマーチ、たべっ子どうぶつ、ホットケーキミックス、ビスコ、ラングドシャ、ギンビスアスパラガス、おにぎりせんべい、ハイチュウ、キャンディ、ジャム、生理用品、お茶っ葉、ドレッシング、醤油、ハンドクリン、抹茶ラテ、スポーツドリンク、お茶、フルーツジュース、野菜ジュース、カルゲンミニ、

参加者 こども 21名 保護者の方 9名

★27日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作りフレンチトースト、手作りチョコのケーキ、手作りレーズンのソフトクッキー、抹茶ラテ、レモンティ、麦茶

参加者 こども 9名 保護者の方 2名

ご支援 お米 10kg、2kg、1合=5名、3合=1名

食用油 8本、塩こんぶ 20袋、みかんゼリー18個、ペットボトルのお茶 31本、
生理用品 1ケース、抹茶ラテペットボトル 1ケース、カルゲンミニ 2ケース、
チョコレートなどのお菓子 10袋、キャンディ 1ビン、いりごま、だし醤油、
お茶っ葉、ジャム、ドレッシング、インスタント味噌汁、紙パックジュース 20
本、オートミール、たべっ子豆腐つ、ハイチュウ 2袋、パスタ 8袋
缶バッジ 1個 300円、 寄付 10円

今月は店内飲食と持ち帰りをあわせて、延べ人数こども 57名と保護者 21名
で合計 78名の参加がありました。配布した物は、お米 18kg、乾物などの食品、
お茶やジュース類、お菓子、ハンドクリン、生理用品をご参加いただいた方に
配布しました。

今月も個人のサポーター様の他に、フードバンクのきょうとフードセンター
さん、フードバンクのセカンドハーベスト京都さんからの食品や日用品などの

寄贈をいただきました。

カゴメみらいやさい財団の助成事業に採択されており、引き続き「カレーの日」「おやつのはじかん」とも、食材購入費の支援を活用でき、安定した運営につながっています。

暑くなってきて、子どもたちからは学校での水分補給やマスク着用についての話を聞きます。こども食堂にも真っ赤な顔で駆け込んできたり、汗で髪が張り付いていたり、健康面で心配になる季節です。麦茶を用意して、まず飲んでもらうことにしようと考えています。

さて、今年度私たちは JA 主催の「バケツ稲作り」にこども食堂として参加することにしました。通ってきている子どもたちの希望者にも種もみセットを配布し、今月からスタートしています。店舗の入り口脇に荒天時以外、常時設置しているので、家で育てている子どもも、そうでない子どもも、興味深そうに観察しています。普段食べているお米ができる様子を知ること、日常の食生活や植物、生物、農業、環境など、様々なトピックスに興味を持つきっかけになるといいなと願っています。私たちも初めての経験なので、緊張しながらも稲の成長を楽しみにしています。

また、今月の寄付金は「こども」からのものでした。本人にとっても大変な勇気のいったことと思います。「こども食堂の活動に使ってほしい」とのこと

で、驚きつつも、大きな喜びの気持ちでもって大切に受け取りました。こども食堂に参加することで、私たちの活動に関心を持って、親子でいろんなことを話す機会があるのだらうなと想像しています。

地区のお知らせで見つけてくれた人、店前の掲示に気付いてこども食堂を知ってくれた人、子ども同士の話での広がり、今月も新たな出会いがありました。

カーヤこども食堂開設から半年が経過して思うこととしては、開設の準備段階から私たちにこども食堂について学び、試行錯誤しながら運営してきたつもりではおりますが、こどもたちの可能性やこども食堂の広がりというのは私たちの想像をいとも簡単に超えています。

知れば知るほど、やりたいこと、やらなければと感じることも増えますが、実際に実現できることには限りがあり、そのギャップにまた悩まされますが、当初の目標の「細く長く続ける」ということに立ち返り、私たちの活動を必要としてくれる子どもたちと保護者たちに、確実に、そして明るく前向きに届けていこうと思います。

カーヤこども食堂運営委員会

木村